

日本計算工学会

「機械学習の工学問題適用に関する研究会」

第1回研究会議事録

日 時： 2019年5月8日(水) 14:00～17:00

場 所： 近畿大学東京センター大会議室

出席者： 和田義孝(近畿大学), 中林靖(東洋大学), 三好昭生(インサイト), 荻野正雄(大同大学), 須賀一博(工学院大学), 塚田祐貴(名古屋大学), 望月祐志(立教大学), 森田直樹(東京大学), 山下拓三(防災科研), 河合浩志(東洋大学), 塩谷隆二(東洋大学), 松原大輔(日立造船株式会社), 片山達也(ダイキン工業株式会社), 以上13名(着席順)

1) 研究会設立趣旨 (和田主査)

主査から本研究会設立の経緯と趣旨について資料に基づき説明があった。本研究会は計算工学講演会のOS「深層学習, 機械学習と計算力学」から発展的に設立されたものであること, 最終的には機械学習等の適用のガイドライン等の公開も視野に入れていること等が説明された。

2) 機械学習等に対する期待と課題 (和田主査)

主査から機械学習分野に対する今後の期待と課題について資料に基づき説明があった。工学の諸問題へ機械学習を適用する際の様々な期待と課題について概要が説明された。

3) 活動計画 (和田主査)

主査から本研究会の今後の活動計画について資料に基づき説明された。年2回から3回の研究会活動を行うこと, 国内外の動向調査を行うこと, 各委員からの問題・話題提供を行っていくこと等が説明された。

4) 委員自己紹介・ライトニングトーク (全委員)

参加委員全員による自己紹介及びライトニングトークが行われた。その中で, 塩谷委員(計算工学会理事)から本研究会への依頼事項として講習会の開催, 学会誌特集記事掲載, 論文誌特集号が要請された。

5) AI・機械学習の適用事例 (望月委員)

「可視化シミュレーション結果の深層学習による解析事例」というテーマで望月委員(立教大学・望月祐志氏)による講演が行われた。講演後には転移学習の手法や, 学習用のCFD結果の作成手法等について活発な議論が行われた。

6) 計算工学講演会 OS 報告（荻野幹事，三好幹事）

幹事からこれまでの計算工学講演会 OS の講演状況，日本機械学会計算力学講演会 OS の講演状況，数値流体力学シンポジウムの OS の講演状況について報告があった。また，これらの講演に関連する研究事例の紹介も行われた。

7) 今後の活動に関する意見交換（全委員）

今後の活動に関して全委員で議論を行った。特に，塩谷委員がライトニングトークで提唱した，講習会の開催，学会誌特集記事掲載，論文誌特集号の発行等について議論があった。また，研究会を活性化するための話題提供の効率的な手法，新規参加者の獲得方針についても議論を行った。

8) 次回会合および事務連絡（和田主査）

次回研究会の日程について 10 月から 11 月頃を検討しているという原案が和田主査から出された。また，今後も空きがあれば近畿大学東京センターを優先して開催場所にすること，空きがなければ東京近郊の大学や企業の会議室を提供できる事が参加委員から示された。

以上.